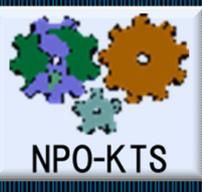




北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州地域の産業発展に貢献する



NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453

E-Mail: npo-kts@npo-kts.org URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.33

2019年 夏号

NPO法人 北九州テクノサポート 会長挨拶

吉田 剛



本日はお忙しい中、ご出席いただきました来賓の皆様、会員並びに賛助会員の皆様にご心より感謝申し上げます。お陰様でNPO法人北九州テクノサポート(以降KTSと表記する)は、令和最初の通算17回目の定期総会を開催させていただきます。

KTSはこれまで、国や県、北九州市をはじめ多数の関係機関のご支援をいただき、諸先輩方の有形・無形の資産と正会員・賛助会員の皆様のご尽力により活発に活動しています。

昨年度の事業を概観しますと、①環境省/エコアクション21(以降EA21と表記する)地域事務局福岡は県下3重要拠点の一つとして250社以上の登録事業者を有し、環境・エコ先進都市/北九州市で環境経営の指南役として活発な支援事業を進めています。②北九州産業人材育成フォーラム様からの「地元企業へのインターンシップコーディネート事業」、③北九州観光コンベンション協会様からの「出展企業と地元企業とのビジネスマッチング事業」、④九州工業大学様からは地場企業ニーズ調査、⑤KITA様の教育研修、また、KTS内の技術研鑽として「第4次産業革命」の勉強会、「KTS会員情報交換会」、ISO・EA21研修会や広報は夏・冬の広報誌発行を実施しました。

会員数の増強にも力を入れ、11名の新規入会者があり、退会者5名で増員することができました。直近では74名まで回復しております。

さて、新年度も昨年来り組んできた4つのテーマ、「KTSの諸活動の相互連携」、「新会員の入会促進」、「会員相互連絡会の定期的な開催」、「広報誌やHPの充実化」といった活動の更なる促進に加え、5つ目のテーマとして「EA21体制強化」を掲げ、中核地域事務局を目指した体質強化を進めます。

また、北九州市SDGs未来都市計画の戦略達成に向けた市民団体のひとつとして具体的な活動に展開して参ります。

令和元年の日本経済は、米中の貿易摩擦の影響や消費税増税の問題を控え先行きは不透明な状況もあります。KTSは様々な社会情勢の変化にも柔軟に対応できる組織として精進したいと願っております。

最後にになりますが、本総会後の特別講演は株式会社安川電機の小笠原社長にお願い致しました。お忙しい時間を割いて「産業自動化を実現する安川電機の挑戦」と題して、ご講演いただきます。これからの時代に先駆けたお話が聞けるのではと期待しています。

KTSはこれからも地元へ貢献するNPO法人として精進を続けて参ります。本総会では、活発なご議論をいただき、ご出席いただいた方々に意義ある場となりますよう宜しくお願い申し上げます。

Topics.1 2019年度 北九州テクノサポート通常総会開催

2019年度総会(第17回通常総会)が6月3日(月)北九州テクノセンターにおいて産学官のご来賓をお迎えして開催された。冒頭の吉田会長挨拶に続いて議長(藤原理事)が選出され、次の3つの議案(含む、収支決算及びその監査並びに収支予算案)の報告、採択が行われ、全て異議なく承された。

1) 第1号議案(2018年度事業報告他) 2) 第2号議案(2019年度事業計画他) 3) 第3号議案(役員改選)

◇ 2018年度事業報告(事業総括) ◇

2018年度の日本経済は、景気が戦後最長と呼ばれる回復基調にあることと団塊世代の大量離職により人手不足が顕著になり、外国人の採用も活発に行われている。また、AIやIoT、ビッグデータといった第4次産業革命と呼ばれるものが日常用語となり身近な話題となって来た。これらがもたらす技術革新によって、私たちの生活や経済社会が変わりつつあるが、一方で高齢化も進み若い世代とのギャップも大きくなり、社会構造が激しく変化している。県内中小企業においては、社会構造の変化に追従すべく新技術の取込み新商品開発を進めたいが、人材不足もあり未来に向けた活動も思うに任せない現状である。

この様な社会経済環境で、NPO法人北九州テクノサポート(KTS)も、設立から16年が経過し高齢化による減員もあったが、新たな多様な専門キャリアを有する会員がそれを上回る数で入会され、陣容を強化した。会員は多様なキャリアの集団であり、「第4次産業革命」勉強会・会員相互情報交換会等で新技術の習得や相互理解を深めながら、地域産業の振興、活力のあるまちづくりへの貢献を目指して活動を展開して来た。

別表のように幅広いテーマの事業を進めている。最終顧客は地場の中小・中堅企業であり重複する企業に様々な形で支援しているが、従来、個別の動きとしての活動であり内部連携が十分でなかった点を反省し、可能な限り相互連携できるように意識した取組を行った。エコアクション21地域事務局は、本日より内部体制強化を促す改定が2018年10月に示され、KTS内外との連携強化を図るべく関係先との情報交換を密に行い体制固めを進めた。

▶(主な活動及び各支援Gr.活動報告は2ページ以降に掲載)



2019年度NPO-KTS総会風景

◇ 2019年度事業計画(基本方針) ◇

日本経済新聞社によると、昨年度の実質成長率は0.6%、今年度も0.6%の見通しになった。成長率はプラスを維持するものの、前期比0.1%にとどまると見込む。米中貿易摩擦や10月に見込まれる消費税増税などの影響もあり日本経済にとって試練の時となる予測である。

戦後、四大工業地帯の一つとして日本の成長を支えてきた北九州市は、一方で深刻な公害にも悩まされた。その克服の原動力となったのが、市民、企業、大学、そして行政の垣根を越えた連携であった。

昨年4月、OECDは「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」としてアジア地区では初めて北九州市を選定したが、これは過去の公害克服の歴史や環境問題への先進的な取組が高く評価されたものである。昨年6月には、政府から「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」に選定されたのを受けて、北九州市は、同年8月に「北九州市SDGs未来都市計画」を策定して、「『真の豊かさ』にあふれ、世界に貢献し、信頼される『グリーン都市』」をビジョンに掲げ、①人と環境の調和により、新たな産業を拓く(経済面)、②1人ひとりが行動し、みんなが輝く社会を拓く(社会面)、③世界のモデルとなる持続可能なまちを拓く(環境面)の3つを統合的に推進することを打ち出した。社会課題の解決にしても、国際貢献にしても、暮らしや企業活動とより密着した「都市」の役割がますます重要であり、互いに学び合うことで課題の発見、解決を目指すまさに、産学官民のつながりが強い北九州らしい活動が求められる。

北九州テクノサポート(KTS)は、「ものづくりの支援事業を通じて産業振興を図り、まちづくりに貢献する」の理念の下、支援を必要とする企業(特にものづくり中小企業)の課題解決に協力して成長を応援し、北九州地域の一層の発展に貢献することを目指して来た。KTSはこれらの事情に合わせて、その豊富な経験・知識・人脈を持った人材を仲間と呼び込み、その技術力を活かして地域の活動組織と連携や協業を進め、つなぎ役・実働部隊として地域産業発展の礎として活動したい。

▶(実施計画は6ページに記載)



NPO-KTS会員・産学官有志一同

◇ 役員改選 ◇

定款に則った任期満了に伴う役員改選を行い、理事候補14名(内、再任11名、新任3名)、監事候補2名(再任)並びに退任理事2名が紹介され、了承された。

<<役員紹介>>

2019年7月理事会(7/2開催)において会長以下三役、並びに各支援グループ(Gr.)長が選出された。

会長	吉田 剛
事務局長	小林 敏郎
副会長	藤原 利久、影山 隆雄
理事	石井 剛、江副 綏人、弟子丸 克彦 林 慶三郎、藤崎 正昭、松隈 斉 山本 倅暉 (以下、新任) 佐藤 保、西 哲郎、松本 昭喜
監事	石川 浩、重藤 将美

各支援Gr.長

・技術経営ものづくり支援Gr.	吉田 剛
・産学官連携人材育成支援Gr.	影山 隆雄
・環境・省エネ支援Gr.	石井 剛
・ISO・EA21 支援Gr.	松隈 斉
・IT活用支援Gr.	影山 隆雄
・販路開拓ビジネス支援Gr.	藤原 利久
・広報・デザイン支援Gr.	林 慶三郎
・エコアクション21 地域事務局福岡責任者	弟子丸 克彦



懇親交流会(於 味工房 かず)



末廣課長

北九州テクノサポート様の記念すべき第17回通常総会が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

貴団体におかれましては、国内有数のものづくり拠点である北九州地域を中心に、「モノづくりの支援を通じて産業振興を図り、まちづくりに貢献する」との理念のもと、豊富な経験と知識・技術を有する諸先輩方の力を結集し、技術開発や産学連携など様々な支援を通じて、本県ものづくり産業の振興に御尽力いただいております。

吉田会長をはじめ、会員の皆様の熱心な活動に心から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

昨年度、県では国の補助金を活用して、工業技術センター機械電子研究所に「高精度3D形状測定機」を新たに導入しました。導入装置は部品の3D形状寸法を高精度に測定し3Dデータ化することができます。また、測定データ

と3DCADデータを自動比較することで、成形品の寸法許容差を迅速に確認することができます。自動車、工作機械、電子機器など多様な産業分野における製品、部品、金属等、幅広い業種において活用できますので、皆さまにおかれましては是非御活用いただきますようお願いいたします。

景気は緩やかに回復していますが、本県のものづくり中小企業を取り巻く環境は、人材確保の困難、国内市場の縮小、グローバル競争の激化など、依然として厳しい状況にあります。県としましては、技術の高度化や新技術・新製品開発、人材の育成・確保、知的財産戦略などの支援施策を積極的に推進し、厳しい状況を打開できる多様で活力ある自立したものづくり中小企業の成長発展を図ってまいります。

終わりに、北九州テクノサポート様のさらなる御発展と、お集まりの皆様のご健勝と御活躍を心から祈念いたします。

(代読)中小企業技術振興課課長技術補佐 野見山 修治様

2018年度事業報告

別表 2018年度の主な活動

NPO法人北九州テクノサポートのご関係先との連携の下、7つの支援グループ(Gr.)の個別又はGr.間の協働並びにEA21地域事務局活動を行った。

活動項目	関係先
北九州地域産業人材育成事業 (地域連携型インターンシップ 支援活動)	北九州地域産業人材育成 フォーラム (公財)北九州活性化協議会
2018販路開拓事業 ・西日本製造技術イノベーション ・中小企業テクノフェアin九州	(公財) 北九州観光コンベンション協会
九州工業大学 産学連携 ・アソシエイト派遣 ・ニーズ探索	九州工業大学 イノベーション推進機構
途上国向けマーケティング研修の 講師業務	(公財) 北九州国際技術協会(KITA)
北九州商工会議所アドバイザー 活動の推進(ものづくり補助金 申請書作成指導支援等)	北九州商工会議所
5Sの推進他、業務改善指導	K社
広報誌(夏号/冬号)の発行	県、市、FAIS、大学等学術機関、 KTS賛助会員・広告協力企業
「第4次産業革命」勉強会	NPO-KTS、地元企業、 北九州市関係者他
エコアクション21 認証・登録事業の推進	(一財) 持続性推進機構中央事務局
会員相互情報交換会	NPO-KTS会員、地元企業

2018年度各支援グループ活動実績

1. 技術経営ものづくり支援Gr.

1)九工大産学連携アソシエイト業務と連携による企業の技術課題把握

九工大産学連携アソシエイト業務の地場企業ニーズ調査の対象企業を訪問した際、現場を把握し、大学の技術を用いた解決策提案やKTS会員の技術を活用した支援を提案し、3項に示す具体的取組みを行った。

2)NPO-KTSの他の事業との連携による企業技術課題把握

販路開拓ビジネス支援Gr.のビジネスマッチング事業や産学官連携人材育成支援Gr.のインターンシップ事業と連携して企業訪問を実施したが、2018年度は企業技術課題把握には至らなかった。

3)企業支援の具体化

- ・S社に九工大の技術を取入れ技術開発支援を実施した。
- ・D社のパッキン端材の活用について意見交換会を行った。
- ・P社からの九工大技術相談があった。

4)企業支援の実施

K社の工場改善支援として5Sの指導を実施し成果を上げた。

5(公財)北九州国際技術協力協会への講師派遣事業

2018年度は、(公財)北九州国際技術協力協会(KITA)の要請によりタンザニアからの研修生11名に対してKTSが実施している中小企業支援事業を説明するため会員2名を講師として派遣した。

2. 産学官連携人材育成支援Gr.

1)研修型(短期)インターンシップに関する事業

研修型(短期)インターンシップは、夏休み期間の1~2週間を利用したのですが、北九州地域にある理工系大学、北九州高専、産業医科大などの学生にインターンシップを通じて地域のものづくり企業を良く理解し、地域企業への就職率を高める狙いがある。平成30年度は、地域のものづくり企業220社に対してKTSのコーディネーター11名が手分けして訪問した結果、83社から受入れ登録があった。

2)実践型(長期)インターンシップに関する事業

実践型(長期)インターンシップは、将来の産業を担う人材の育成のため、3ヶ月から半年の期間で行うもので、学生の教育効果が高く企業にとっても手が付かなかった課題解決にもつながるものです。しかし、学校側の時間割等の制約から対象は九工大と北九州高専の学生に限られている。

平成30年度は、地域のものづくり企業60社に対してKTSのコーディネーター4名が手分けして訪問した結果、20社から受入れ登録があった。

3)「第4次産業革命」勉強会の開催

第4次産業革命は、IoT・AI・ロボット・サイバーフィジカルシステム(CPS)などの新しい技術による変革です。この動向を勉強して中小企業支援に活かすことが重要と考えて平成28年1月に自己研鑽の場として「第4次産業革命」勉強会を立ち上げた。平成30年度は、ロボティック・プロセス・オートメーション(RPA)と生産現場のIoTをテーマとして取り上げた。

(次ページに続く)

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員・協力企業様の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR-募集中>
NPO-KTS通信Vol.33 広告1-2



大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています。

大光炉材株式会社

本社:〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL: 093-871-1631(代) FAX:093-883-2151
<https://www.taiko-ref.com/>

経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。



株式会社 有菌製作所



当社は、「人生にやさしい」福祉・医療器具の総合メーカーです!

■当社は、障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供します。

代表取締役 有菌 央

〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL:(093) 661-1010/FAX:(093) 661-1670

<http://www.arizono.co.jp/>





NPO法人北九州テクノサポート第17回通常総会のご開催を心より喜び申し上げます。
 会員の皆さまには、日頃より技術・知識・経験を活かした地域企業への技術支援はもとより、企業間のビジネスマッチングによる販売促進支援など、本市の産業振興に大いに貢献いただいております。吉田会長をはじめ、皆様の活動に対して、この場をお借りして厚く感謝申し上げます。

さて、我が国の生産年齢人口は、今後、急激に減少していくことが見込まれており、働き手の不足は、中小企業の皆様の経営状況や市民生活に大きな影響を及ぼします。このため、本市では、女性や若者、高齢者、海外の高度人材など、多様な人材の呼び込み、掘り起こしによる新たな働き手の確保に注力するとともに、ロボット、IoT、AIなど 新技術を活用した生産性向上に向けた取組

を進めています。

生産年齢人口の減少は喫緊の課題です。皆様の技術支援の取組はもとより、産業人材の育成や市内企業での活躍を目指した産業人材育成フォーラムにおけるインターンシップ事業は、今後の北九州市の成長を支えるものだと考えています。改めて御礼申し上げます。

また、本市は、OECDから「SDGs(持続可能な開発目標) 推進に向けた世界のモデル都市」として、アジア地域で初めて本市が選定されたことで、新たなまちの魅力が加わりました。今後も引き続き、「住みよいまち・北九州市」の魅力を国内外に発信していきますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、北九州テクノサポートの今後のますますのご発展と、お集まりの皆様のご健勝を祈念して、挨拶とさせていただきます。

2018年度各支援グループ活動実績

4)九工大産学連携部門へのアソシエイト派遣事業

九工大の要請により平成29年度から産学連携部門へKTS会員2名をアソシエイトとして派遣している。

5)九工大産学連携コーディネーター業務請負事業

九工大と連携可能性のある地域企業の発掘とその企業の技術ニーズ把握を目的に、平成30年度はKTS会員6名で9件の技術相談案件を提案した。

6)サポイン事業評価業務

九州経済産業局のサポイン事業の中間評価と最終評価並びに事業化支援業務を平成25年度からKTS会員の個人契約ベースで行っており、平成30年度は5名の会員が従事した。



於て、九州工業大学
 於て、北九州テクノセンター
 インターンシップ事業会議風景

5. IT活用支援Gr.

1)NPO法人統合会計システムの導入と運用

KTSの会計システムは、2003年の発足当時にExcelを活用して独自に開発したもので、総勘定元帳を始めとして会費管理台帳、寄付金管理台帳、現金出納帳、預金管理台帳など15のシステムに分かれており、システム毎に入力が必要で、入力に掛る時間が無視できないものであった。最近、NPO法人統合会計システムが適切な価格で市販されていることから、2018年度は、この導入を図ることによって、仕訳日記帳に入力するだけでNPO法人会計システム処理が済み、データ入力時間が大幅に削減できた。

6. 販路開拓ビジネス支援Gr.

1)西日本製造技術イノベーション展示会ビジネスマッチング支援事業

展示会のビジネスマッチング支援は、出展企業シーズと地域企業のニーズとのマッチングを図り、出展企業の拡大と地域企業の来場拡大により地域発展に貢献する事業です。

西日本製造技術イノベーション展示会は、2018年度がビジネスマッチング支援事業として始めてですが、出展企業35社に対してKTSコーディネーター18名がビジネスマッチングを図った結果、来場企業103社があり、面談・商談・見積・成約の合計334件の成果を得た。



西日本製造技術イノベーション

2)中小企業テクノフェアin九州展示会ビジネスマッチング支援事業

中小企業テクノフェアin九州展示会のビジネスマッチング支援事業は、2018年度が10回目の記念の事業になりました。第1回目の出展企業が23社でしたが、10回目には70社まで拡大して、KTSコーディネーター19名がビジネスマッチング支援を行った結果、来場企業は111社あり、面談・商談・見積・成約の合計551件の過去最大の成果を得た。



中小企業テクノフェア

3)北九州商工会議所アドバイザー制度を活用した支援事業

2014年度から北九州商工会議所の要請によりものづくり企業へのアドバイザー制度を開始した。約40名のKTS会員を登録し、4名の幹事役を置いて、商工会議所の会員企業の特許・申請・技術的対応・メーカの紹介等に対応する制度である。2018年度は、4名のKTS会員が6件の相談に対応した。

4)近隣市町村・商工会議所・商工会との連携支援

2018年度は苅田町・苅田商工会議所に加え、行橋市及び同商工会議所との交流を強化し、行橋市との自動車産業振興協議会やBM支援の交流を開始しやBM支援を行った。

5)西日本工業大学等との地域連携推進

2018年10月以降、西日本工業大学と苅田町・行橋市など大学近隣の企業との連携について地域行政・商工会議所と協力しながら進めた。

3. 環境・省エネ支援Gr.

1)連携による環境助成事業

放置された竹林は、北九州地域でも大きな環境問題になっている。2018年度は、この問題解決策として幼竹から食メシを作ることを環境助成事業に提案したが、採択に至らなかった。

4. ISO・EA21 支援Gr.

1)ISO9001:2015, ISO14001:2015新規構築支援コンサル事業

2018年度は、依頼のあった企業に対してISO認証支援活動を通じて維持向上及び新規取得支援を行った。

2)ISO 9001 : 2015規格改訂内容の解説及び対応策の指導

2018年度は、2社の内部監査員を対象とした規格改訂内容及びその意図しているところを説明した。

3)「省エネ基準準拠の換気設備性能への自己適合宣言」支援

2017年度に引き続いて、省エネ活動の自己適合宣言への前提要件に関する構築・検証の支援活動を行った。

4)北九州商工会議所アドバイザー派遣制度を利用した支援

2018年度は、1社に対してISO 9001/ISO 14001の2015年版での内部監査員の育成教育を実施した。

5)「EA21だより(KTS通信互版)」の発行

EA21の認知度の向上・普及及び認証登録事業者の活動紹介などのため「EA21だより」を発行しているが、2018年度はVol.13号を発行した。

6)ISO・EA21グループ相互研修

EA21ガイドラインの改訂(2017年版)に併せ、審査及びコンサルティングに関する相互研修会を3ヶ月に1回実施した。また、新しいガイドラインの要求事項に合わせた『文書類事例集』を作成した。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

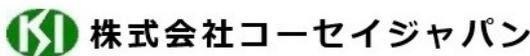
■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員・協力企業様の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
 NPO-KTS通信Vol.33 広告3-4



限りある資源を未来に 地球環境に貢献



(新商品) 高温環境対応型LED照明

当社は、高効率LED照明や省エネ安定器等の開発および製造を行い、全国で販売を実施しております。

新商品、高温環境対応型LED照明は、製鐵所、鋳造工場、電気炉などでご使用いただける照明器具です。

<開発の課題> LED素子の温度管理、LED電源装置の温度管理

<解決方法> LED素子数を従来製品の約2倍にし、出力を低く抑えることで、LEDの発熱を抑えた。LED電源とLED照明器具の配線距離

を最大50mまで可能にし、高湿な天井から離れた場所に置くことで寿命短縮を軽減した。

http://www.kosei-japan.com

〒800-0315 福岡県京都市都府町港町8-11

TEL:093-436-6136 FAX:093-436-6141



80℃の高温環境に対応!



すなわち謙虚に無限の未来をひらいていこう
株式会社 豊洋製作所



水栓金具部品



医療機器部品

水栓金具部品及び医療機器部品の開発・製造にISO品質マネジメントシステムを適用した仕組みを実践

◆代表者: 取締役社長 小河原 信
 ◆本社・工場: 福岡県京都市都府町鳥越町1-44
 TEL 093-436-5200
 FAX 093-436-5207
 URL https://www.hoyo-s.co.jp





今日は、特定非営利活動法人 北九州テクノサポートの第17期通常総会の開催、誠にありがとうございます。
貴会におかれましては、設立以来、地域企業の支援や産学連携のコーディネート活動など幅広く活躍いただいております。また、北九州地域の産業振興に大いに貢献されておられます。また、日頃より北九州産業学術推進機構(FAIS)の事業に対して、ご理解とご協力を賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

FAISでは、北九州市が策定した「北九州市新成長戦略」の目標像である「新たな技術と豊かな生活を創り出すアジアの先端産業都市」の実現に向けて、地域産業の知的基盤である学研都市を中心とし、地域企業の技術開発とその事業化の支援、また、中小企業支援センターを中心とした中小企業の経営支援などに取り組んでいるところです。

なかも、中小企業支援センターでは、市の新成長戦略に掲げられた5つの方向性のうち、特に「地域企業が元気に活動し続ける環境整備」を推進しており、平成30年度の経営者等からの相談対応件数は916件と前年度を100件程度上回ったほか、経営課題解決に向けた専門家派遣を延べ24社に135回実施するなど、地域の中小企業・ベンチャー企業の支援拠点としての活動を積極的に進めています。

さらに、FAISでは、昨年4月に公益財団法人九州ヒューマンメディア創造センターと合併し、IoTの活用による生産性向上に向けた支援活動の強化を図りました。あわせて、新たな行動指針である「新中期計画(2018年度～22年度)」を策定し、北九州市の産業構造の変革、強靱化に重要な役割を果たしてまいりたいと考えております。

北九州テクノサポートの皆様には、豊富な経験や技術、専門知識を生かして、私共の活動にご支援賜りますようお願い申し上げますとともに、今後さらに地域産業の振興にお力添えをいただくことを期待しています。
結びに、特定非営利活動法人 北九州テクノサポートの皆様のご今後のさらなるご活躍と、貴会のますますのご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。
(代読)中小企業支援センター長 小石 富美恵様

2018年度各支援グループ活動実績

7. 広報・デザイン支援Gr.

1)KTS通信の発行

Vol.31(H30年夏号)通常総会特集号、Vol.32(H31年冬号)新年特集号を発行した。

2)KTS賛助会員・広告協力企業の広報支援

計18組織の事業所(製品・技術)紹介や広告掲載を通して広報活動を支援した。

3)継続的な広報活動の展開

KTS活動の認知度向上活動を実施した。又、広報誌読者様アンケートを実施した。

KTS会員情報交換会

会員相互連絡会推進チーム

本会合は全会員等を対象とした拘束性のない情報交換の場としてH30年2月に発足し、これまで計5回の開催を重ねてきました。直近は2019. 3.21開催でグループ活動紹介、環境・エネルギー関連外部事例発表等、そしてお楽しみ懇親会で盛り上がりました。会合は3ヶ月に1回(黒崎COM City)を目安としており、KTS活動状況把握や自己PR、又、ビジネス開拓の場でもあります。新入会員はもとより各位の積極的なご参加、ご提案(事業化、運営等)を期待します!!

■エコアクション21地域事務局福岡 2018年度活動実績

(1)認証・登録業務推進と地域判定委員会・運営委員会開催

248事業者からの審査申し込みを受け、審査人を選任・審査し、判定委員会で審議し、その結果を中央事務局に報告し、出されたコメントに対応した。又、運営委員会を開催した。

(2)エコアクション21(EA21)導入セミナー開催 (2018年5月)

8社に対しエコアクション21の概要と取得事例を説明した。

(3)自治体ユニシアティブ・プログラム開催 (2018年7月から2019年2月)

北九州市実践講座及び福岡県集合コンサルティングを開催し認証取得希望事業者5社を対象に担当審査人講師が集合指導した。

(4)認証登録事業者フォローアップセミナー開催 (2018年11月)

認証登録事業者に対して情報提供、相互意見交換、相談会を開催した。

(5)10年継続取組事業者に感謝状授与 (2018年11月)

10年間エコアクション21に取り組んできた16事業者に対して中央事務局からの感謝状を授与した。

(6)建設業者向けガイドライン2017年改訂版説明会開催 (2019年3月)

建設業者向けガイドライン2017年改訂版の発行を受け、その内容について説明会を2回開催した。

(7)北九州市長感謝状対象候補の選考上申

環境経営の取組がすぐれている北九州市内事業者を市長感謝状授与候補として選考の上、市へ上申し3社が感謝状を授与された。



フォローアップセミナー



10年継続取組事業者感謝状授与式

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員・協力企業様の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>NPO
-KTS通信Vol.33 広告5-8

環境づくりに心をこめて

株式会社 守恒造園建設

◆地域密着の循環システムの推進
◆社会貢献

事業品目
きのこファーム・造園工事・環境事業

(本社) 北九州市小倉南区志井鷹羽台4番3号
TEL 093-962-4211 FAX 093-962-4272 URL <http://www.morizou.info/>

株式会社リョーウ

<http://www.e-ryowa.com/>

TEL / 093-436-0113

ベテラン目視検査員の暗黙知を認識に!

従来の画像処理で出来なかったことが可能に!

僅か30枚の良品画像で機械学習できる
画期的なAI外観検査システム

気象システムとIoTを駆使したソリューションシステムを提案致します!

高性能・高機能 新波浪予測情報提供システム
羅針盤 国土交通省"NETIS"登録商品【登録番号 GSK-140001】

- "羅針盤"専用の予測解析システムを開発!
- 1kmメッシュ毎に、最大10先まで予測!
- 最大20の地点登録、充実した印刷機能!
- 登録した地点の予測はすぐに閲覧、印刷が可能!

小型波高観測装置 千草 国土交通省"NETIS"登録商品【登録番号 GSK-140001】

- 加速度センサー、ジャイロセンサー搭載によりあらゆる動きを検知するバイパス高計!
- 観測データはリアルタイムに閲覧可能、警戒値超過の場合はメール通知!

気象海象観測機器やシステムの設計・開発など、多岐多様なお客様ニーズにお応えしますので、何なりとお申し付け下さい!

気象庁予報業務許可 第51号
国土交通省"NETIS"登録商品【登録番号 GSK-140001】
ZEROSAI 国土交通省"NETIS"登録商品【登録番号 GSK-160002】

今の情報を 知る"観測"
自社開発の気象観測機器

これからの情報を 知る"予測"
500mメッシュ毎の、ピンポイント予測

全員に伝える"報知"
基準値超過の場合はメール通知、電光掲示板(音と光)で危険を周知

この3つを踏まえたシステムで、安全・安心・防災に繋がるソリューションをご提案致します!

気象庁予報業務許可 第51号
国土交通省"NETIS"登録商品【登録番号 GSK-140001】
ZEROSAI 国土交通省"NETIS"登録商品【登録番号 GSK-160002】
北九州市小倉南区能力新町2丁目8番11号
TEL(093)965-1033 FAX(093)965-1055
E-mail: info@sysmet.co.jp URL: <http://www.sysmet.co.jp>

Since 1914
次の100年へ

千草ホテル

Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL 093-671-1131
<http://www.chigusa.co.jp>

演題:「産業自動化を実現する安川電機の挑戦」

講演者: 株式会社 安川電機 代表取締役社長 小笠原 浩 様



◆創業と現状

1915年に創業し現在104年。売上高は2018年で4,700億円、グローバルで15,000人、国内の日本人は6,000人位で大企業とされているが、時価総額が数千億円でも買収されることもあり、必ずしも大企業の位置づけでのビジネス展開ではなく中小企業のマインドを持って臨んでおり、主事業は競争力を持って生き残るためにモーションコントロール、

ロボットとシステムエンジニアリングに絞っている。1917年に石炭運搬用モーターを国産化し、1960年代初め頃に精度よく止めるモーターを作ったが難しくメカとエレクトロニクスの融合はパラダイムシフト、イノベーションといえる変化だった。メカトロニクスという言葉は安川電機が1969年に商標登録したが80年代になって言葉が世間に広まった時に権利の主張論もあったが取り下げて誰でも使えるようにしたと後で聞いた。そして1977年にモートマン全電動化ロボットを作り、1990年前後からはより精度の高いリニアモーターを作りそれを半導体とか液晶ガラスの領域に展開した。そういう中で世界初の技術で世界一を目指し、企業規模より固有技術へのこだわりをもってギネスブック並みのことを常に考え、やり続けることで生き残ろう、というのが今の歴史的な背景だ。

ロボットの先端に何を持たせるかが大事で無数にあるが、これがあまり世の中に通じておらず、顧客志向でフットワークの軽い会社との協働が要るが、これを国が中小企業育成とか言うのでややこしくなっている。ドイツ初め欧州にはシステムインテグレーションの会社が多く、中国でもものすごい数で生まれてきており日本ではやくないと全滅してしまうということで地方創生事業が要る。セグメント別ではロボット37%、モーションコントロール43%、仕向け先別では国内33%、海外は欧米、中国、アジア圏で中国は21%。中国は激しい競争に勝つために値段よりスピードを重視しているから、かつ世界を俯瞰しつつ国を動かそうとしており手強い。

◆2025年ビジョン

2025年ビジョンを2015年(100周年)のときに作った。2025年にはどうなるか、どうしたいかというビジョンを10年後に在籍する人達を中心に議論して作ったが、これは書き換えながら進めないといけない。私達は10年スパンでやっているが日本はこういうスタンスの進め方が弱い。中国の各省庁を含めたトップは5年、10年、20年後を頭に描くし、アメリカもそうで、それが下まで落ちているが、日本の弱さはそこがあまりなく、市にしろ、国にしろ、将来のあるべき姿の議論がしづらく、また、地方創生交付も如何に使うかではなく、それで先々どうしたいかという議論ができないと面白くない。

2025ビジョン・Humatronicsとして医療・福祉分野を3~4年やってきたが、ロボットのコストパフォーマンスの考え方は自動車用ロボットと医療用(例えばハビリ)ロボットのそれは異なり、この世界にはFAの概念が通用しないというのが、今の私達のひとつの結論でこのキーワードは小さい言葉に変えていく。

◆インダストリー4.0

1970年にunmanned factoryという画を描き今もこれを実現しようとしている。今というindustrie4.0に多少類似するものだが、FAの世界では夢と現実の差が大きくほぼ50年経っても実現できていない。どこまで進み2020年に、2030年にどういふFAの世界にしたいのかを描くのが、今、非常に必要だ。

1977年にティーチングプレイバックロボットを出し、産業用、クリーン用、人協働ロボットと品揃えは豊富になったが構造はさほど変わっていないし次世代としてどう変わるのかの案もあまりでない。今、世界中でindustrie4.0、国もSociety5.0とかいっているが踊らされているということもある。もともとindustrie4.0はドイツで発表されたが、自動車関連での世界のリードを自論論たもので全てモノづくりに通用はしにくい。背景としてユーザーの嗜好が、必要な機能・性能を満たしてくれて大量生産するもの(スマホ、家電)、自分の嗜好でオプションが選べるもの(自動車、パソコン)、そして個性にあった自分だけのオーダーメイド(服、家具)という大きくこの3つになり、build to order, orderに合わせたモノづくりが今の流れで、大量生産では中国には勝てない。例えば、スマホを年間2億台作るために部品を集め製作後に設備毎廃棄する方式と自動車生産方式は同じにはできない。

◆中国のFAへの取組み

中国は、一帯一路、新経済特区、中国製造2025等を打ち出している。彼らはいどうすれば勝てるのかという概念で、長期的な視野でものごとをみており、中国製造2025もそうだがその見方には先入観がない。完全コピー製品を輸出する、という風に思いがちだがそんな時代は既に終わっている。技術はともかくモノはコピーしていない。例えば100軸マシンやリコン大量製造ラインの多数作業者のロボット化などは異なる発想で進めるから怖い。

◆I³-Mechatronics (アイキューブメカトロニクス)

これからのモノづくりは、受注から出荷まで管理し人協働で大量生産を進めても中国に追いつくだけで、少し違うことをやらないといけない。安川電機ではI³-Mechatronics (アイキューブメカトロニクス)がある。2003年に私がつくった言葉で、そのコンセプトは、まず、Integrated, Intelligent, Innovativeという言葉。統合して、知能化して、革新しよう、と文系を含む全従業員にCEO/CIO兼務の立場で言っている。部分最適化(例えば、営業=粗利、工場=限界利益)ではなく全体最適化を進めるにはまず、integrated, FAでは個々の機器がうまく動いてもタクトタイムがよくなるわけではなく、全体のバランスをみてどう動かすかを考える時にintegrateしようということ。そして、それにより情報が一元化されるので思い切りやろう、というのがinnovated。部分最適のビジョン化、データ活用によるメカトロニクスの進化、さらに会社の進化ということを会社の中で懇々と話している。

◆新地方創生事業

まず研究開発拠点として革新的ロボットの開発。2番目に研究開発を通じた高度なロボット開発人材の育成。最後に導入支援拠点を整備して生産性の向上を加速し革新的ロボット技術の導入とSier等の専門人材育成を図る。北九州のFA業界と組んでロボットを使える形、使いやすい形にするのが大きな目的で、今からでてる中国とかに負けないためにはインテグレーションがキーワードで、ロボットを作る側も使う側も進化して使う側のロボットづくりをやるとうのがこの中身。人と同じ作業ができる汎用ロボットは簡単にはできないのでロボット開発の高度人材育成が要るが、このためにロボットを開発する、ロボットが現場でどう使われるかを知っている人を如何に多くするのだが、何をすればよいかは、なかなかわからない。これは会社の大きさとか全く関係なく、稼働時間、コストパフォーマンス、単純作業でのハンドをどうするか、といったような会話を北九州各市と一緒にやろう、という発想だ。

この場所として安川電機テクノロジセンターの一部をオープンイノベーションエリアとして提供し、そこに安川電機と九工大タッグで研究室を誘致、その横にいっしょにやってくれる人を集めてシステムインテグレーションの場所をつくる。

この創生事業費用は国からの交付だが、北九州市が将来どうありたいのかの明確化を進める中で、どんな高度人材をどう招聘するのか、を考えることが非常に求められておりこの辺を少しずつ実現しながら北九州の活性化に繋ぐ。

◆海外戦略

安川電機の戦略の基本は、一定量以上の需要に対応する現地生産を行う。米中貿易摩擦とかいろいろたかかっているが、安川電機は中国でモノを作っており日本から輸出しているものはほとんどなく95%を中国で調達しており、間接的影響はあるが直接的な影響はない。海外への展開はSBU制度による海外統括でアメリカ、ヨーロッパを含めトータル30ヶ国でやっている。

◆働き方改革

社長になって働き方改革の基本的な考え方を出した。スローガンは、各個人に合わせたスタイルで仕事をしてそれを会社として公平に評価する。基本的には、働きやすい会社を目指すのではなく、厳しくてもやり甲斐のある会社を目指す。方針としては、権利と義務、平等と公平、自由と責任のバランスが大事。過去にこのバランスを崩して失敗した。働き方改革とはあたり前の基準を上げることと作業密度を上げることで競争力向上を図ることが基本だが、1980年代、そして90年代の改革において仕組みの不備による効率悪化を招いた。働き方改革の現在、今後だが、意識改革とCIOを兼務しての業務改革を目指し、進め方の基本は現場主義(現場で起こっていることを確実に捉える)、個別対応(全体制度化ではなく、事象毎に対応)を明確にして制度設計しよう、というところで進めている。(ご清聴ありがとうございました)

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

Advertisement for Nishitei Co., Ltd. (株式会社ニシテイ). It features the company logo, a list of products (Power Resistors, Power Quality Products, Robot Peripherals), and a slogan: "新たなステージへさらなるステップアップを実現します" (Achieving the next stage and further step-up). Contact information for their main office and regional branches is provided at the bottom.

■賛助会員・協力企業様の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.33 広告9-10

A grid of six small advertisements for various organizations in the Kyushu region. The top header is "公益財団法人 北九州活性化協議会" (Public Interest Incorporated Association of Kyushu Revitalization). The ads include: 1. KPEC's main activities (KPECの主な活動); 2. A research project on "mottainai" (もったいない総研); 3. Industry human resources development (産業人材育成); 4. School support (小学校応援団); 5. A 1,000-person dream fund (1,000人の夢資金); 6. Kyushu Innovation Career (九州イノベーションキャリア); 7. A promotion for a "machi-zukuri" (まちづくり) project.

2019年度事業計画

■組織及び活動方針

組織: 活動組織は前年度に引続き7支援グループ及びEA21地域事務局の体制とするが、各支援Gr.の活動状況を踏まえ、支援Gr.の在り方を見直す。
運営方針: 本年度は既存受託事業(ビジネスマッチング・人材育成フォーラム・EA21事業等)の内容充実に加え、新規事業開拓を強化する。
 企業の課題解決に市の施策と連携し、新技術の地場企業へ導入支援に取り組む。
 本事業を支える人財の入会の促進及び情報共有促進のため、定期的な相互連絡会を開催し会員の力を結集する場や、ホームページ・広報誌の内容充実で情報を積極的に発信し、事業拡大のチャンスを作る。

■実施計画

1. 技術経営ものづくり支援 Gr.

- (1)会員の技術力と希望の把握及びネットワーク力強化**
 地域企業の実態を知り、その課題に対応できる新入会員促進による人材補強や会員相互の情報交換会等を通じ企業支援活動を希望される既存会員の技術を掌握し、企業支援の基盤固めをする。
- (2)NPO-KTSの他の事業との連携による企業技術課題把握**
 他Gr.と連携した企業訪問や、KTS会員情報交換会に企業の参加を呼び掛け課題の把握に努める。
- (3)企業支援の具体化**
 ・事業管理者との改善方策をすり合わせの上、損益向上に特化した改善活動を実施する。
 ・昨年度の活動できっかけを掴みつつあるS社、I社、D社との連携を強化し、支援の具現化を図る。
 ・九工大の技術と連携LP社、R社などの支援を進める。

2. 産学官連携人材育成支援 Gr.

- (1)地域連携型インターンシップに関する事業**
 - 1) 研修型(短期)インターンシップは夏休み期間の1~2週間を利用したのですが、北九州地域にある理工系大学、北九州高専、産業医科大などの学生にインターンシップを通じて地域のものづくり企業を良く理解し、地域企業への就職率を高める狙いがある。
 2019年度は地域のものづくり企業180社に対してKTSのコーディネーター12名が手分けして訪問し、受入れ登録企業120社を目指す。
 - 2) 実践型(長期)インターンシップは将来の産業を担う人材の育成のため、3ヶ月から半年の期間で行うもので、学生の教育効果が高く、企業にとっても手が付かなかった課題解決につながる効果がある。
 地域のものづくり企業180社に対してKTSのコーディネーター12名が手分けして訪問し受入れ登録企業30社を目指す。
- (2)九工大産学連携部門へのアソシエイト派遣事業**
 九工大の要請による産学連携部門へKTS会員のアソシエイト派遣(2名)継続予定。
- (3)サボイン事業評価業務**
 九州経済産業局のサボイン事業の中間評価と最終評価並びに事業化支援業務を平成25年度からKTS会員の個人契約ベースで行っており、2019年度は5名の会員が従事する計画である。
- (4)「SDGs勉強会」の開催**
 住み続けられるまちづくりを目指し、北九州SDGsクラブへの参画と会員の自己研鑽の場として「SDGs勉強会」を開催し、北九州市の取組へKTSとして独自の提言や課題解決を図る。

3. 環境・省エネ支援 Gr.

- (1) 連携による環境助成**
 環境の保護、リサイクル、地域社会の活性化等を図ることを目指して、KTSが技術的な調査・分析・研究・実践を行うために他の団体と協働して官民の助成事業に応募して取り組む。
- (2)省エネ支援**
 中小企業の省エネ診断やエネルギー管理指導を行う。また、省エネ補助金制度等を活用し中小企業の省エネ設備導入への支援を実施する

4. ISO-EA21 支援 Gr.

- (1) ISO認証維持・新規取得支援**
 ISO(品質・環境・労働安全衛生・医療・航空宇宙など)再構築支援、及び委託、運用支援を行う。
- (2)業務改善支援**
 1)ISO内部監査員スキルアップ研修を実施する。
 2)ISOを通じた効率化による生産性向上と人材育成等の課題解決を図る。
- (3)「EA21だより(KTS通信瓦版)」の発行**
 EA21の認知度の向上・普及及び認証登録事業者の活動紹介としてVol.14号を発行する。
- (4) ISO-EA21グループ相互研修**
 1)年4回のグループ研修会開催及び他機関開催へ参加する。
 2)新会員に対するEA21審査員資格取得を目的とし1回1回の勉強会を実施する。

5. IT活用支援 Gr.

- (1)NPO-KTSのホームページ全面改版と維持管理体制確立**
 平成15年の発足当時に会員がIBMホームページビルダーを活用して制作したもので、その後の度重なる改版によりトップページが非常に煩雑になっただけでなく、定期的な改版も出来難くなり、その役割を果たさなくなった。KTS会員の中からホームページ制作の専門家の方に加わってもらい全面改版チームを立ち上げて約半年の期間でこの問題解決を図る。
 同時に広報・デザイン支援Gr.の協力を得てホームページの維持管理体制を確立する計画である。
- (2)中小企業のIT活用支援**
 2018年度にKTSの会計システムを統合化することによって入力に要する時間を大幅に削減したが、中小企業の生産管理システムも統合化することによって、人手不足解消に繋がる効果が得られるので、その視点から支援を計画する。
- (3)「第4次産業革命」勉強会の開催**
 2016年度から取り上げたテーマについてその後の進化を含めて再度学習する。

6. 販路開拓ビジネス支援 Gr.

- (1)西日本製造技術イノベーション展示会 ビジネスマッチング支援事業** (6月) - 2回目
 出展企業53社と昨年度から18社の増加が見込まれ、KTSコーディネーター16名がビジネスマッチングを図り、面談・商談・見積・見積・成約の件数増加を目指す。
- (2)中小企業テクノフェアin九州展示会ビジネスマッチング支援事業** (毎年10月) - 11回目
 出展企業数も順調に応募があり、KTSコーディネーター公募も19名となり、面談・商談・見積・成約の合計件数の伸長を目指す。
- (3)福祉機器展示会等とのビジネスマッチング支援の検討**
 ビジネスマッチング支援に関する事業環境と福祉関係に詳しいKTS会員の調査を行う。
- (4)北九州商工会議所アドバイザー制度による支援事業**
 約40名のKTS会員を登録し、商工会議所の会員企業の特許・申請・技術的対応・メーカーの紹介等に対応する制度である。2019年度は、10名のKTS会員が15件の相談に対応する計画である。
- (5)近隣市町村・商工会議所・商工会との連携推進**
 苅田町・苅田商工会議所、行橋市及び同商工会議所に加えて下関・中間・遠賀・飯塚等との交流を強化し、苅田に続き行橋自動車産業振興協議会との交流も継続・活性化する計画である。
- (6)西日本工業大学との連携・協働活動**
 同大学の企業研究テーマの協力や京業協働地域活性化などを提案する計画である。

7. 広報・デザイン支援 Gr.

- (1)アンケート調査(Vol.32新年特集号で実施)結果の活用(今後の編集への反映)
- (2)KTS通信の発行(Vol.33(2019年夏号):7月、Vol.34(2020年冬号):2020年1月)
- (3)KTS賛助会員・広告協力企業の広報支援(事業所めぐりと広告掲載)
- (4)KTSパンフレット更新(フライヤー、展示パネル、プレゼン資料)
- (5)KTSホームページ更新情報の取り纏め(IT活用支援Gr.とのタイアップ)
- (6)中小企業の広報支援(社誌編集発行/広告・パンフレットデザイン支援)

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州120地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

賛助会員・協力企業様の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
 NPO-KTS通信Vol.33 広告11-14

安全で持続可能な社会のための戦略・システム・ソリューションを提供

株式会社 エステック21

工場の環境負荷低減(エコロジー)や、トータルコストダウン(エコノミー)を提案

Wエコ

軽くて耐久性抜群! わずか0.1mm 高性能遮熱シート

価格 0.1mm 95℃のやかんが28℃に!!

オンリーワン、ベストワン製品の普及促進を、技術・事業面から支援します。

油を劣化させない 工業用オイル 高性能濾過装置

〒811-4343 福岡県遠賀郡遠賀町田園3-2-27
 TEL & FAX: 093-293-6431 E-mail: info@s-tech21.biz URL: http://www.s-tech21.biz/

がちりガードして、耐風力・防犯力・操作性・耐久力が大幅アップ

中柱固定装置 ザガードマン 新発売!

当社開発/特許取得製品

安全・安心、シャッター設置・修理

有限会社 やまもと

〒805-0050 北九州市八幡東区春の町3丁目1-9
 TEL 093-681-6360 FAX 093-681-6818
 フリーダイヤル 0120-117-914(市内)
 URL http://www.s-yamamoto.jp

Matsushima

Matsushima Measure Tech

計る×技術で世界に向けて

株式会社 マツシマ メジャテック

〒807-0837 北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号
 TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735
 URL http://www.matsushima-m-tech.com
 E-Mail sales@matsushima-m-tech.com

自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作で 世界をリードする金型専門メーカー

高品質の金型を世界へ

Uchida Co., Ltd
 株式会社 ウチダ

代表取締役社長 内田 祥嗣

九州工場 〒823-0011 福岡県宮若市宮田542-38
 TEL (0949)33-3145 FAX (0949)33-3146
 本社 〒574-0055 大阪府大東市新田本町12-6
 TEL (072)874-3377 FAX (072)874-3839
 E-mail: info@uchidanet.co.jp
 URL: http://www.uchidanet.co.jp

Copyright ISO 9001 by Bki JAB QMS Accreditation KPMR

2019年度事業活動開始状況 (Hot News !!)

★2019年度地域連携型インターンシップ

この事業は7年を経過し、協働企業数は170社を超え、インターンシップ参加を通じて採用につながる具体的なケースも増えています。2019年度は、夏休み期間1～2週間の1)研修型に加えて、企業の実務を担い期間3～6ヶ月の2)実践型(長期)、企業の働き方改革や第4次産業革命につながる課題解決を目指す3)実践型(長期・課題解決型)、そして北九州工業高等専門学校(専攻科)1年生を対象にした4)北九州高専長期型のコーディネーター業務を担います。



インターンシップ協働企業を主体としたものづくり企業研究会

★ビジネスマッチング(BM)

——(公財)北九州観光コンベンション協会主催フェアでの協働——

◆「西日本製造技術イノベーション 2019」(6/19-6/21)

本事業は高度な開発製品の多い大企業・中堅企業が主体のものづくり企業53社が対象です。これまで以上のニーズ調査や専門性が求められますが、コーディネーター16名が3日間の本番を終了し、来場・出展社とのBM支援実績を集中中です。なお、10月のテクノフェアBM支援キックオフもとも重なるという課題もあるが、新規BM支援として定着化を図って会員活動の場を拡げ、地域の発展に寄与して参ります。

◆「中小企業テクノフェアin九州2019」(10/9-10/11)

本フェアでのBM支援は11年目であり、ご出展企業と来場誘致企業との相互BMの成果は着実に上がっており、更なる成果を目指し、6/11に19名のコーディネーターをエントリーして主催側を交えたキックオフミーティングを行い、支援課題や提案の検討、出展誘致や出展社説明会準備など、具体的な活動を開始致しました。

■第4次産業革命勉強会

第4次産業革命は、IoT、人口知能AI、サイバーフィジカルシステムCPS、ロボットなどの活用により新しいビジネス創出や生産性を飛躍的に高めるものです。NPO-KTSでは、平成28年1月から隔月開催の自己研鑽の場として「第4次産業革命勉強会」を開催して来ましたが、2019年度は、2016年度から取り上げたテーマについて、RPAや5Gなどその後の進化を含めて再度学習します。

用語: RPA(Robotic Process Automation) 5G(5Generation 5世代通信システム)

■SDGs勉強会

北九州市は、2018年8月に「北九州市SDGs未来都市計画」を策定して、「『真の豊かさ』にあふれ、世界に貢献し、信頼される『グリーン都市』」をビジョンに掲げました。これを受けてNPO-KTSは、住み続けられるまちづくりを目指し、北九州SDGsクラブへの参画と会員の自己研鑽の場として「SDGs勉強会」を開催します。特に中小企業の課題解決に協力して成長を支援し、北九州地域の一層の発展に貢献することを旨など北九州市の取組みへ独自の提言を目指します。

用語: SDGs(Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)

■エコアクション21地域事務局福岡 2019年度事業計画

- (1) 認証・登録業務実施 審査申請受け～審査計画・審査員選定～審査～結果判定～中央事務局報告及びフォロー(中央事務局、事業者)を実施する。
- (2) 導入セミナー開催 環境経営について説明し、EA21認証取得への取り組み及び取得事業者の事例発表を実施する。
- (3) 自治体イニシアティブ・プログラム開催 認証取得の意思を持つ事業者へA21認証への取り組み方を説明し、審査申請まで指導する実践講座を開催する。
- (4) 認証登録事業者フォローアップセミナー開催 取り組みの意識・レベルの一層の向上をはかるため、環境経営の動向、取組事例、相互意見交換等を実施する。
- (5) ガイドライン2017年業種別改訂版説明会開催 ガイドライン2017年業種別改訂版の発行を受け、その改定の趣旨及び内容について説明会を開催する。
- (6) 10年継続取組事業者に感謝状授与 10年間エコアクション21に取り組んできた事業者に対して中央事務局からの感謝状を授与する。
- (7) 北九州市長感謝状対象候補の選考・上申 環境経営の取組がすぐれている北九州市内の認証取得事業者を授与候補として選考し市へ上申する。

<p>新任理事紹介</p>  <p>にしはらろし 西哲郎</p> <p>エコアクション21地域事務局福岡の事務局員を14年間勤めている。今後、エコアクション21の運営・普及・啓蒙に於いて、母体との更なる連携強化を目指して努力していきたい。</p>	<p>さとう たもつ 佐藤保</p> <p>エコアクション21審査員として環境経営マネジメントシステムの普及と発展のお役にしたい。又、北九州市の生涯現役夢追塾卒業生として生涯を現役で産業・社会活動に貢献したい。</p>	<p>まつもとしょうき 松本昭喜</p> <p>山口県のエコアクション21地域事務局として9年間勤務、また審査員として7年間活動してきた経験を活かし、今後、一層、事業者様から信頼していただけるように努めて参りたい。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員・協力企業様の広報コーナー
 <製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
 NPO-KTS通信Vol.33 広告15-18

微美 創造企業 MEMS SOLUTION

【事業: 超精密金型部品の製造】

我々は、「超精密」にこだわり、お客様に喜んで頂ける製品を、常に作り続けることを経営の柱にしています。「どうしたら、急速に変化する市場ニーズに対応できるのか?」思考を繰り返し、知恵を出し、現状の枠にとらわれない広い視野で、夢のある物作りを実現して行きたいと考えております。これからも「お客様の喜び=我社の喜び」を追い続けていきます。

株式会社ワークス 代表取締役 三重野計滋(みえの けいじ)

〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津1445 Tel:093-291-1778 Fax:093-291-2728
 E-mail:info@wks-co.com http://www.wks-co.com

MIMM

ドナルド点検専用車両

特徴 1 安全・迅速	特徴 2 3D 同時計
特徴 3 高精度	特徴 4 直感的!!

30倍ズームカメラ
赤外線熱画像撮影
(サーモカメラ)

計測検査株式会社
 北九州市八幡西区陣原 1-8-3
 TEL: 093-642-8231

建造物に美を添える”研磨”という芸術

東洋ステンレス研磨工業株式会社
 TOYO STAINLESS POLISH INDUSTRY CO., LTD

NPO 法人北九州テクノサポートさまよりご協力いただいています

展示会でビジネスマッチングしませんか?

西日本製造技術イノベーション2019
 2019年 6/19(水) ▶ 21(金)
 詳しくは Web で!

中小企業テクノフェア in 九州 2019
 2019年 10/9(水) ▶ 11(金)
 詳しくは Web で!

西日本製造技術

中小企業テクノ

主催: **公益北九州観光コンベンション協会** 会場: 西日本総合展示場 新館
 Kitakyushu Convention & Visitors Association 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 3-8-1
 TEL:093-511-6800 FAX:093-521-8845

株式会社 コーセイジャパン

NPO-KTS賛助会員であり、省エネ照明分野での豊富な実績をお持ちで、テクノフェア等の常連ご出展の同社を訪問し、安陵社長様に最近の新製品開発状況等のお話を伺った。(藤原理事・林理事)

■会社の沿革と業況

同社は社長の実父である安陵次郎が1973年、高炉の改修工事から始まった会社である。高度成長期で製鐵の需要は高く、新日鉄などの全国の高炉建設に協力企業として関わってきた。

高炉建設の減少に伴い転業を進めていくと決意したときに、市場に数が多くて長時間使われるものを作りたいと考え、省電力照明の開発に取り組んでいくことにした。

最初の取り組みは蛍光灯電子安定器で、インバータによる効率改善で、従来の銅鉄式安定器から30%の省エネが実現した。

電子安定器は1995年頃から20年以上販売を行い、一昨年販売を終了した。また2010年からはLED照明の発売を開始し、従来の照明から70%以上の省エネと、照度シミュレーションによる職場環境の改善をご提案している。

製品開発において福岡県工業技術センター機械電子研究所の技術協力を得て、CAEを活用した最適なヒートシンク設計を行い、低コスト且つ高効率なLED照明を完成させた。

水俣条約に伴い、水銀を含む照明(水銀灯、一部の蛍光灯)は2020年より製造中止となることもあり、LED照明への切り替えは、益々需要が高まっていくようである。

■今後の展開と課題

一般照明分野におけるLEDは前述のとおり、需要が高まる反面、競合メーカーや販売店の増加に伴い、価格競争が厳しくなっている。そのため資本金、販売力に勝る大手メーカーとの競合は同社のような中小零細企業では、厳しい状況に追い込まれるため、新たな分野への進出を模索していた。

その時に福岡県工業技術センター機械電子研究所より、植物育成用LED照明の開発のお誘いを受けた。

機械電子研究所の実証済みの研究成果を技術移転して頂き、平成30年度社会ニーズ対応型ロボット・システム関連製品開発・実証支援事業を活用して、植物育成用LEDおよび自動LED照明システムの共同開発を行った。

また、農業IoTによる自動制御、省力化は農家の業績向上と、働き方改革につながり、日本の食糧自給率の向上が期待されるので、今後、農業IoT製品開発にチャレンジし、照明と併せて農業分野の発展に寄与したい。

■KTSへの期待

省エネ事業では引き続き展示会等で営業支援をお願いするとともに、新分野(IoT技術)での支援も期待したい。

◇会社概要

- 所在地: 福岡県京都市郡苅田町港町8-11 TEL:093-436-6136
 - 代表者: 代表取締役 安陵 範浩 ■設立: 1973年5月
 - 資本金: 3,500万円 ■従業員数: 5名
 - 事業: ①LED照明の開発及び製造販売 ②照明器具並びに付随する製品の開発 ③電気工事業(福岡県知事許可(般-27)第94002号)
- URL: <http://www.kosei-japan.com>



低コスト高効率LED照明



植物育成用LED電球

株式会社 エステック21

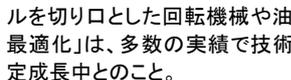
NPO-KTS賛助会員であり、工場のWエコ推進の高い技術と実績をお持ちの同社を訪問し、同社省エネ製品の体験もさせて頂き、安部社長様に現状と今後のお取組み等のお話を伺った。(林理事)

■会社の沿革と業況

同社はサステナビリティをキーワードに2000年に創業以来、一貫してものづくり企業の環境負荷低減(特に省エネ)やコストダウンのお手伝いをしている。

個々のお客様に合わせた最適提案を心がけており、そのホームページ<http://www.s-tech21.biz/>には豊富な改善事例が掲載され、これをご覧になった全国の方々から問合せが急増している。

創立当初から取り組んでいる「工業用オイルを切り口とした回転機械や油圧ユニットの最適化」は、多数の実績で技術も確立し、安定成長中とのこと。



安部社長 & 社員一同

また、3年前に着手した「放射熱をほぼ全てカットできる高性能遮熱シート」では、省エネだけでなく、生産性向上や暑熱対策の効果も大きく、多くの方に喜んでいただいている。

■今後の展開と課題

従来は工場設備の課題解決中心だったが、「高性能遮熱シート」は適用範囲が広く、今年では建物へ改善案件が急増しており、今後は工場以外の建造物や農畜産分野にも伸ばしていく。

またSDGsへの関心の高まりを受けて、より広い視点で新事業スタートへ向けての情報収集も始めている。

■KTSへの期待

これまで営業パートナーのご紹介、情報提供でも応援していただき大変感謝している。

弊社は全国展開の中、意外にも福岡以外のお客様の比率が高く、地元貢献が十分出来ていないので、地元の企業との橋渡しでさらなるサポートをしていただければありがたい。

また過去にベンチャー企業やシンクタンクの支援、北九州市立大学兼務での産学官連携による新燃料普及のための技術開発プロジェクトや、国のプロジェクトで中国化学工場の省エネ指導の経験もあるとのこと、新事業の創出でも何か一緒にできないかとお話もあり、そのコラボレーションにも期待したい。



20年以上新油並みを維持!

濾過前 濾過後
(例: 油圧射出成型機 作動油)



高性能遮熱シート(0.2mm)を貼ると・・・

約90°Cが約10°Cに!

◇会社概要

- 所在地: 福岡県遠賀郡遠賀町田園3-2-27 TEL:093-293-6431
 - 代表者: 代表取締役 安部 貴巳弘 ■設立: 2006年10月
 - 資本金: 1,000万円 ■従業員数: 5名
 - 事業: 工場のWエコ(環境対策・コストダウン)支援(高性能遮熱シート、工業用オイル高性能濾過装置、他)
- URL: <http://www.s-tech21.biz>

■会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

企業の第一線をリタイアされた方の第二の人生を地域社会発展のために貢献・恩返ししてみませんか? 皆さん方が持っておられる知識・技術・経験・人脈は、次の社会に伝えなければならないし、それは義務でもあり権利でもあります。これからが本格的な社会貢献の時期なのです。 当NPO法人を利用して地域社会で御活躍下さい。

■会員・賛助会員の会費

- ・正会員 入会金: 5,000円/年会費: 5,000円
- ・賛助会員(法人) 入会金: 10,000円
年会費: 20,000円/1口
- (個人) 入会金: 5,000円
年会費: 5,000円/1口

編集後記



新元号令和での初めての北九州テクノサポート通信は、通算33号(年2回の定期発行)、今回・夏号は通常総会特集号です。冊子発行は2,000部ですが、今回号を含めバックナンバーは全てホームページに掲載していますので併せてご覧下さい。産学官民のご関係の皆様方、会員の皆様方に喜んで頂ける広報誌を目指して、編集委員はもとより、新規入会を含む会員各位にも広くご参加を仰ぎながら誌面の充実化を図って参りますので、今後共、お引き立ての程、よろしくお願ひ申し上げます。(編集者)



《詳細情報は下記ホームページから》
<http://www.npo-kts.org/>
賛助会員の申し込み受け付け中
ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。
技術開発・環境経営の発展を支援します。

NPO法人 北九州テクノサポート
広報誌「北九州テクノサポート通信 Vol.33」
2019年7月15日 発行

編集・発行: NPO法人北九州テクノサポート(広報・デザイン支援 Gr.)
北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル 806号室
TEL/FAX: 093-873-1453 E-mail: npo-kts@npo-kts.org